



レスポンスブル・ケア

## 「信越化学サステナビリティレポート2023」

### 第三者検証 意見書

2023年6月26日

信越化学工業株式会社

代表取締役社長 齊藤 恭彦 殿

一般社団法人 日本化学工業協会  
レスポンスブル・ケア検証センター長

尾崎 智



#### ■ 検証の目的

本検証は、信越化学工業株式会社が作成した「信越化学サステナビリティレポート2023」(以後、報告書と略す)に記載された下記の事項について、レスポンスブル・ケア検証センターが化学業界の専門家としての意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性
- 3) レスポンスブル・ケア活動(以後RCと略す)及びサステナビリティ活動の内容について
- 4) 報告書の特徴について

#### ■ 検証の手順

- ・ 本社において、各サイト(事業所、工場等)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示と説明を受けることにより行いました。
- ・ 群馬事業所の検証は、本社と群馬事業所を繋いだWeb会議で、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、証拠となる資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・ 数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・ 本社および群馬事業所では換算係数等を組込んだ自動集計システムを採用しています。さらに、異常値入力時の警告表示、数値の変更があったことを認識させるセルの着色化等を実施し、数値の正確性確保に工夫されており数値は正確、かつ効率的に集計されています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
  - ・ 報告書に記載された情報は正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性或いは表現の分かりやすさに関し若干の指摘をしましたが、現報告書では修正されており、現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) RC活動及びサステナビリティ活動の内容について
  - ・ 地球の未来への貢献に向けて、従来からサステナブル経営を標榜され、グループのサステナビリティの基本方針を制定して、経営トップがRC活動及びサステナビリティ活動の推進にリーダーシップを発揮されていることを評価します。
  - ・ 社長が委員長を務めるサステナビリティ委員会にタスクフォースチームを構築し、カーボンニュートラル達成に向けた温室効果ガス(GHG)削減計画を検討し公表したことを評価します。
  - ・ 2022年度の安全活動では、国内での重大事故ゼロ、休業災害ゼロの目標を達成したことを評価します。
  - ・ 群馬事業所では、保安防災、労働安全に関し定常時のみならず非常にも踏み込んでリスクアセスメントを実施しています。設備やプロセスの安全性向上に向け、「開放系で可燃物を取り扱う作業」等重大事故につながる危険性がある作業の安全総点検を実施しています。またコージェネレーションシステムの導入を積極的に進めてきており「熱エネルギーの循環の取り組み」が確実に進んでいることを確認しました。
- 4) 報告書の特徴について
  - ・ 今年度の報告書では「2050年カーボンニュートラル実現に向けた計画」として特集を組み、これまで取り組んできた生産量原単位の削減に加えて排出量(SCOPE1、SCOPE2)を実質ゼロとするために策定した計画を開示しています。
  - ・ 女性の活躍を積極的に進めているグローバル企業として海外拠点の「女性社員の取り組み」記事が増えています。

-以上-